

納入事例

喜多方プラザ様

重視したのは、STUDER のサウンドクオリティ。
メイン卓とレコーディング卓に同じモデルを導入。



メイン卓の STUDER "OnAir 3000" モジュールモデル



レコーディング卓の STUDER "OnAir 3000" デスクモデル



BSS Audio "BLU-160" × 3台

■ 地方振興に貢献する公共ホール

喜多方プラザは、喜多方地方の振興を図るために設立された公共ホール。大・小ホールを備えており、大ホールは、喜多方プラザが企画する公演のメイン会場として一流の舞台芸術が披露されるとともに、地元文化団体の発表会など地域の方々に気軽に利用されたりと、年間を通じて多彩な催しが開催されています。このたび、設備の更新に伴い、大ホールの機材入れ替えと改修工事が行われました。

■ PA 用途もレコーディング用途も STUDER の音質で

PA 用途はもちろん、催し物を記録するためのレコーディングも手がける喜多方プラザ様は、メイン卓とレコーディング卓の 2 つのコンソールを所有しており、今回の改修で同時にデジタル化。選定時には、「音質がよく、PA とレコーディングが同じような操作性を持つコンソール」という要望がありました。その要望に見事こたえたのが、STUDER の "OnAir 3000"。音質の良さがまず認められ、高い信頼性もあいまって、メイン卓とレコーディング卓、両方に同じモデルが導入されることになりました。OnAir 3000 は世界中の放送局で活躍していますが、ホールに導入されるのは初めてということ。しかし違和感はなく、メイン卓とレコーディング卓の両方が同じ操作性なので、作業効率が向上しています。また、STAGEBOX のプリアンプをメイン卓とレコーディング卓で共有しているのも特徴のひとつです。機材を有効活用できる上、スペースの省略化にもなっています。さらにエンジニアの使い勝手をよくするべく、メイン卓をモジュールタイプにしています。必要なモジュールだけを分割して舞台袖や客席に移動させてオペレートができる様になり、大ホールの多岐にわたる催し物に柔軟に対応可能です。また、サーフェスもエンジニアの要求に応じて角度をカスタマイズし、オリジナルのフレームを作成しました。

今回の改修工事では、会館全体をデジタル化することを想定して光ネットワークを構築しています。MUTEC "MC-1" で伝送方式の変換をし、マスタークロックジェネレーター MUTEC "iDdp" で OnAir 3000 とマルチプロセッサ BSS Audio "BLU-160"、スピーカーマネジメントシステムなど数多くあるデジタル回線を同期させています。

● お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3880

HIBINO

hibino Group

▼喜多方プラザ文化センター

〒 966-0094
福島県喜多方市字押切二丁目 1 番地
TEL : 0241-24-4611
<http://www.kitakataplaza.jp/>



【運用開始】

2010年4月

【主要な納入機材】

機材	ミキシングコンソール
ブランド名	STUDER
製品名	OnAir 3000 (モジュールモデル / デスクモデル)

機材	デジタル・マルチプロセッサ
ブランド名	BSS Audio
製品名	BLU-160

機材	フォーマット・コンバーター
ブランド名	MUTEC
製品名	MC-1

機材	マスタークロック・ジェネレーター
ブランド名	MUTEC
製品名	iDdp

機材	マイクロホン
ブランド名	AKG
製品名	C 414 B-XLS、C 568 B、 C 480 B comb-ULS/61

機材	マイクロホン
ブランド名	Shure
製品名	BETA 87A、BETA 57A、 PG57